

令和6年2月14日

足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努 様

足立区立栗島中学校 開かれた学校づくり協議会
会長 平田 丈雄

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

今年度は入学式や卒業式の参加、行事の参観や日頃の授業の参観等が制限なくできるようになり、今まで以上に学校との連携を密にとることができ、協議会委員一同にも喜びの声が多く上がった。栗島中学校の生徒の姿や日頃の教育活動と行事から、生徒と先生方が一丸となって取り組むすばらしさを感じることができた。栗島中学校では、地域や保護者が求める個別の支援が行き届いている。また協議会委員や地域から、栗島中学校の生徒が元気に挨拶できること、地域の活動にも積極的に参加していることなど、評価の声が非常に多くある。これは栗島中学校の先生方の教育活動が実を結んでいる結果だと捉えている。さらに、保護者から聞く学校の様子も、教職員が生徒一人一人を大切に、生徒が落ち着いて学校生活を送ることができていると聞いている。学習面における課題はあるが、先生方の授業の工夫により、生徒の学習意欲は少しずつ向上しているように思う。

栗島中学校の伝統として取り組んでいる「立志の時間（総合的な学習の時間）」において、自ら考え、調べ、まとめて発表する力を育む活動を通して、学習発表会のみならず、高校受験の面接等でも力を発揮し、輝かしい結果を残している。これは継続的かつ計画的に取り組んできた成果であると考えている。また今年度は栗島中学校との小中連携にも力を入れ、9年間を見通した教育を進める研修会を行い、常に生徒のために研鑽を積み、子ども達を地域で育てるという意識の高さが感じられる。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

教職員が入れ替わっても、これまでの栗島中学校の良さを教職員が理解して踏襲していることがわかる。今後はそれだけに留まらず、さらに良くしていく取組を期待する。また、新入生予定数は減少したが、その分栗島中学校の魅力である、個別指導を充実させていくことをお願いしたい。「個に応じた温かい指導」を継続することが今後の課題であると考えている。

3 その他

今年度は栗島中学校のボランティア部を中心に、地域と学校が連携した取組を実現することができた。コロナ禍でできなかった「ゆめはなプロジェクト」も小規模ではあったが、実施することができた。生徒とともに、環境整備を整える活動ができたことは非常に大きな一歩であった。

